

2020年12月21日

芙蓉総合リース株式会社が発行する
「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

静清信用金庫（代表者名：佐藤徳則、以下「当金庫」）は、このたび、芙蓉総合リース株式会社が発行するサステナビリティ・リンク・ボンド（以下「本債券」）への投資を決定しました。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことを指します。発行体があらかじめ定めた重要な評価指標とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、SPTs）によって評価され、発行体に SPTs 達成に向けた動機付けを与える債券です。

本債券の発行条件と連動するSPTsとしては「2024年7月までにグループ消費電力の再生可能エネルギー使用率 50% 以上」及び「2024年7月までに「芙蓉 再エネ 100 宣言 ・ サポートプログラム」および「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」の 累計 取扱額 50 億円以上」を設定しています。投資を通じて、芙蓉総合リース株式会社のSPTs達成に向けた取り組みを支援することで、再生エネルギーの活用やCO₂削減に向けた取り組みが推進され、国連の持続可能な開発目標（SDGs）^{注1)}の達成にも貢献するものです。

今後も、当金庫はその公共性・公益性に鑑み、持続可能な社会の形成に寄与すべく、社会的使命・役割を果たして参ります。

〈本債券の概要〉

銘柄	芙蓉総合リース株式会社第 27 回無担保社債（社債間限定同順位特約付） （サステナビリティ・リンク・ボンド）
年限	7 年
発行総額	100 億円
利率	0.380%

注 1) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015 年 9 月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が掲げる、加盟各国が 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 のターゲット

以上